

現代経済学 -ニュースによく出る経済学-

単位数	ナンバリングコード	
2	DBA211	
	教員名	伊藤 好一
	専門	地域経済学、非営利組織論
	出身校等	北海学園大学大学院経済学研究科経済政策専攻 博士（経済学）
	現職	函館大谷短期大学ビジネス情報学科 准教授
授業形態		
前期印刷授業・後期印刷授業		
授業範囲	試験範囲	
教科書のp.1からp.14、p.241からp.471、巻末の経済学基本用語解説と演習問題解答	授業範囲すべて 【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要		
<p>現在の日本は急激な円安や物価高、拡大する財政赤字といった経済問題が山積しています。日本経済のこれからを考えるためには、まずはこれら経済問題のメカニズムを理解して、その対策について勘案することが欠かせません。本講義では、政府・企業・家計を総合的に捉えて一国レベルで分析するマクロ経済学の基礎を学修します。ニュース等で見聞きする一国レベルの経済現象のメカニズムおよびマクロ経済政策などについて理解し、分析ができるようになることを目指します。</p>		
授業における学修の到達目標		
①マクロ経済学の基礎と考え方を理解すること。 ②一国レベルの経済現象のメカニズムやマクロ経済政策などについて分析して説明できるようになること。		
講義の方針・計画		
<p>この講義では、教科書『入門 経済学（第4版）』のマクロ経済学パートについて学習します。全15回を以下の内容で学習します。</p> <p>第1回：イントロダクション：マクロ経済学とはどのような学問か？ 第2回：マクロ経済学の指標：GDPなど 第3回：GDPの三面等価 第4回：有効需要と乗数メカニズム①マクロで見た需要 第5回：有効需要と乗数メカニズム②需要の決定とマクロ経済の均衡 第6回：マネーストックと信用乗数 第7回：貨幣供給と物価 第8回：マクロ経済政策①財政政策と金融政策 第9回：マクロ経済政策②マクロ経済政策をめぐる論争 第10回：インフレ・デフレ 第11回：失業 第12回：高齢社会の財政運営 第13回：経済成長と経済発展</p>		

講義の方針・計画
第14回：為替レート 第15回：比較優位
準備学習
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
成績評価の方法およびその基準
科目試験による評価100%
教科書
書名：入門 経済学（第4版） 著者名：伊藤元重 発行所：日本評論社 ISBN：9784535558175 （電子書籍は不可とする）
参考書
なし
その他
なし
試験期間
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026学年暦」を参照
学習プリント
あり
教職科目
関連受講科目
経済学入門
担当教員の実務経験
実務経験なし